

第一三共「思いをつなぐ」次世代応援プログラム(第1期) 募集要項

1. プログラムの趣旨

第一三共「思いをつなぐ」次世代応援プログラムは、がん領域および難病患者団体および支援団体を対象とするプログラムです。患者さんが病気の治療をしながら、生活の質(QOL)を高めるためには患者団体・支援団体の存在が欠かせません。本プログラムは、患者団体や支援団体の活動を支援することで団体の持続可能性を図り、それにより患者さん一人おひとりが QOL を高める希望の光を見出していただくことを目的に、2024年度に新設したものです。

2. 対象となる団体

以下の要件を全て満たす団体を対象とします。

- (1)がん領域および難病の患者団体・患者支援団体等

※ここでいう「難病」とは「難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項」に基づく「指定難病」以外の難病も含まれます

- (2)法人格を有する団体

- (3)2024 年4月1日の時点で設立より3年程度活動実績を有する団体

- (4)主たる事業所所在地と事業展開地が日本国内にある団体

- (5)営利、政治、思想および宗教活動を目的としていないこと

- (6)団体の関係者が反社会的勢力との関係がないこと

3. 助成対象となる主な事業

日本国内で実施する下記の事業を対象とします。

- (1)患者とその家族の療養環境の改善に係る事業

※疾病や症状に関する啓発事業、患者と家族に対する相談や精神的ケアに関わる事業など

- (2)患者の就学・就労との両立を支える事業

- (3)団体運営を担う次世代の人材育成・教育に係る事業

4. 助成概要

- (1)助成金活用期間

2024年9月1日から2025年3月31日の間

- (2)助成金額

1件あたりの助成金額上限100万円（申請は1団体1申請）

- (3)助成金の使途

申請内容に基づいて選考しているため、助成金は、原則として申請した経費に充てるものとし、事業の大幅な変更は認めません。

(4)対象となる経費

助成金活用期間に発生した申請事業に直接関わる費用・事業費

※対象費目および要件については、「申請書作成にあたっての注意事項」をご参照ください

(5)対象外となる経費

助成対象となる事業と直接関わりのない費用(他業務に関わる人件費等)

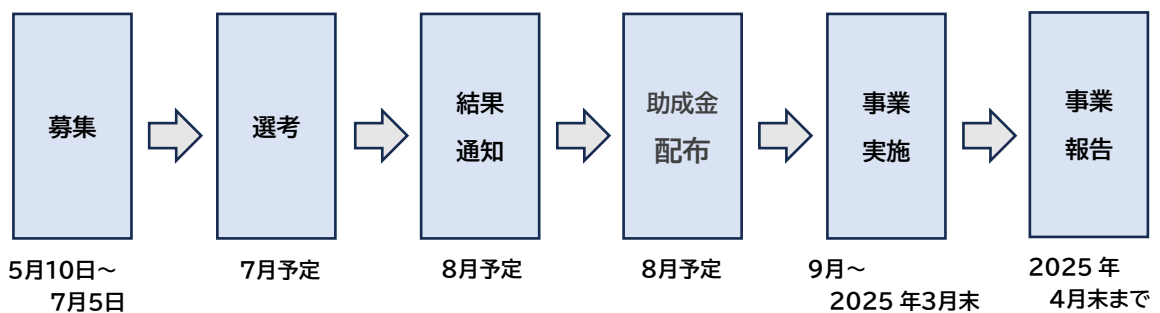
団体の恒常的な運営に必要な費用(事業所家賃、水道光熱費、通勤交通費等)

※対象外となる経費については、「申請書作成にあたっての注意事項」をご参照ください

(6)他の資金との併用について

申請事業は自己資金や他の助成金・寄付金との併用が可能です

5.スケジュール



※スケジュールは変更になる可能性があります。日本フィランソロピー協会ホームページ内事業ページを随時ご確認ください

※事業成果報告会は事業報告後、開催予定

6.選考

(1)選考方法

社外有識者を中心とした選考委員会において審議を行い決定します

※内容によって、ヒアリングなどを行うことがあります

※採択されても申請金額全額の助成とならない場合があります

(2)選考ポイント

- ①【整合性】申請事業が本プログラムの趣旨と整合している
- ②【公益性】社会や患者 その家族、支援者の課題やニーズを的確につかんでいる
- ③【実現性】事業の実現性がある(適切な事業計画・予算計画)
- ④【必要性】本助成金の必要性(公的支援等が得にくい活動など)
- ⑤【継続性】波及効果や新たな展開、一過性に終わることなく継続的な取組が期待できる

(3)選考結果の通知

選考結果については2024年8月中旬に事務局より電子メールで通知いたします

※申請後に電子メールアドレスを変更する場合は速やかに事務局までご連絡ください

※選考結果に対しての個別の問い合わせにはお答えできませんので、ご了承ください

7.申請手続き

(1)募集期間

2024年5月10日(金)～2024年7月5日(金)

(2)申請方法

所定の申請書に必要事項を記載し、必要書類を添付の上、申請フォームからご送付ください
申請書は、公益社団法人日本フィランソロピー協会ホームページ内の以下の事業ページより
ダウンロードしてご利用ください。 <https://www.philanthropy.or.jp/ds/>
電子メール、郵送での申請は受け付けません

(3)提出書類

以下の書類を、申請書とあわせて申請フォームからご送付ください

提出書類
①申請書
②定款
③役員名簿（有職者の場合は、職業を記載すること）
④2023年度の事業報告・決算書
⑤2024年度の事業計画・予算書
⑥業者見積書(10万円以上の会場費、印刷費、物品購入費、委託費等 がある場合)
⑦「反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書」:所定の書式に必要事項の記入・署名押印
⑧その他、申請事業や団体概要がわかる資料(新聞記事、ウェブサイトリンク等) ※該当資料なければ不要

- ※団体の役員会、あるいはそれに準ずる機関の承認を得た上で、申請してください
- ※上部組織・団体等がある場合は、当該組織等へご連絡の上、申請してください
- ※申請は1団体につき1申請とし、当該団体の上部組織または上部団体による同一事業重複申請はできません
- ※お送りいただきました書類一式は、返却いたしませんので、予めご了承ください。

(4)申請にあたっての留意事項

応募書類に不備がある場合は選考対象となりません

8.応募時点で確認いただきたい助成決定後の条件

(1)団体情報の公開について

助成金配布が決定した場合、第一三共株式会社が定めた「患者団体との関係の透明性に関する基本方針」に従い、各患者団体等に対する資金提供等の情報公開にご同意いただきます。団体名、所在地、助成事業名、事業内容、助成金額等については、公益社団法人日本フィランソロピー協会および第一三共株式会社のウェブサイト等にて公表するとともに、公益社団法人日本フィランソロピー協会および第一三共株式会社の選定する第三者（報道機関など）へも開示します。

(2)成果物への助成表示

成果物についてはプログラム名を記載してください。
記載例：“2024 年度「第一三共「思いをつなぐ」次世代応援プログラム」事業”または

“本冊子は 2024 年度「第一三共『思いをつなぐ』次世代応援プログラム」助成を受け作成しました”など

(3) 助成事業の報告について

助成事業終了後1ヵ月以内に、活動報告書をご提出いただきます。

- ・活動報告書、収支報告書
- ・助成事業の実施状況を示す写真、資料等
- ・成果物(チラシ、冊子、映像、ウェブサイト等)

事業実施期間終了後に、事業成果報告会にて発表を行っていただく予定です。

(4) 助成金の返還・支払い停止について

次の場合には、助成金の返還を求める場合があります。

- ①申請内容に虚偽があることが判明した場合
- ②助成事業の内容、助成金の使途を事務局の承認なく変更した場合
- ③申請事業を取りやめた場合
- ④事務局が助成事業の継続が困難であると判断した場合
- ⑤期間終了後の報告書類の提出が無い場合
- ⑥反社会的勢力との交友関係が認められた場合
- ⑦法律、政令、行政指導その他遵守すべき法令・規範に違反した場合
- ⑧利害関係者との不適切な関係等、選考委員会の良識に照らして倫理違反と判断した場合

9. 個人情報の取り扱い

公益社団法人日本フィランソロピー協会および第一三共株式会社は、助成金申請に際して取得した個人情報を、適切に管理し、本事業以外の目的には一切使用しません。

10. 応募先・お問い合わせ

「第一三共『思いをつなぐ』次世代応援プログラム」事務局

公益社団法人日本フィランソロピー協会 担当／三宅(みやけ)

電話番号: 03-5205-7580 (平日 9:30~18:00/土日祝除く)

FAX 番号: 03-5205-7585

E-mail: omoitunagu@philanthropy.or.jp